

大学 ICT 推進協議会 2014 年度事業報告

1 総会の開催

- (1) 2014 年 5 月 22 日に、東京ビッグサイト 会議棟 6 階 608 会議室において、第 4 回通常総会を開催した。
- (2) 主な議題等は、次のとおり。
- ① 役員の選任について
 - ② 定款の改正について
 - ③ 2013 年度事業報告について
 - ④ 2013 年度収支決算について
 - ⑤ 2014 年度事業計画について
 - ⑥ 2014 年度予算計画について
 - ⑦ 2014 年度年次大会について
 - ⑧ アカデミッククラウドに関する委託調査の結果について

2 年次大会の実施

- (1) 名 称 大学 ICT 推進協議会 2014 年度 年次大会
- (2) 期 日 2014 年 12 月 10 日 (水) ～12 日 (金)
- (3) 場 所 仙台市情報・産業プラザ, TKP ガーデンシティ仙台 (仙台市)
- (4) 結果の概要

- ① 参加総数：980 名 (来賓等を含む)

参加登録者	当日参加者	招待状持参者	出展者	計
463	146	66	305	980 名

- ② 発表件数：138 件

	基調講演	企画セッション	出展者セミナー	一般口頭発表	一般ポスター発表	計
発表件数	2 件	17 件	32 件	60 件	27 件	138 件

- ③ 展示数 : 61 ブース

展示機関数：57 (47 社, 9 大学 (正会員), 1 協議会)

- (5) TOPIC (東北学術研究インターネットコミュニティ) と共催

3 WEB 及び会誌による情報発信及び新規会員勧誘の推進

- (1) WEB 及び会誌による情報発信

- ① 協議会のホームページで AXIES 全体、部会での活等の情報を発信している。
- ② 2014 年末から、賛助会員等のイベントについても AXIES のホームページにニュースとして掲載している。

- (2) 新規会員勧誘

- ① 2014 年度当初は、正会員 72 機関、賛助会員 39 社であった。
- ② 2015 年 4 月 1 日現在で、正会員 84 機関、賛助会員 47 社となっている。

4 他組織との連携

- (1) 国際連携

ア EDUCAUSE 年次大会での AXEIS イベント

国際連携室の企画で、EDUCAUSE との間に次のような連携を行った。

日時 2014年10月1日(水) 18:30~20:00
場所 Plaza Intl Ballroom F, Hyatt Regency Orlando (EDUCAUSE 年次大会会場近接)
参加者 AXIES 会員機関からの EDUCAUSE 年次大会参加者, EDUCAUSE 関係者 25 名
内容 次のようなセミナーと意見交換・懇親会
・“Academic Technology Strategy for Supporting Digital and Engaged Learning at the University of Michigan”
・“Strategic Planning for Teaching and Learning at University of Florida”

イ 本協議会と同等の機関による国際的な連携枠組み (CHEITA) に参加

日時 2014年10月1日(水)
参加者 AXIES を代表して 山田国際連携室長が参加
(日本, 米国, カナダ, オーストラリア などの組織の代表者)

(2) 国内連携

ア 佐賀県教育委員会との組織間連携協定の締結

- ① 2014年11月19日に、佐賀県教育委員会と連携協力に関する協定を締結した。
- ② 佐賀県教育委員会では、所管の県立高等学校の生徒全員にPCを購入してもらい、ICTを活用した教育の高度化に取り組んでいる。
- ③ 連携協力は、県立高校の生徒のPCに、本協議会で制作している「情報倫理デジタルビデオ」をインストールして授業等で使ってもらい、その成果や課題等をフィードバックする活動から開始する。
- ④ 佐賀県の県立高校に入学する新入生のPC(約6800台)にビデオがインストールされ、利用が開始された。

イ TOPIC (東北学術研究インターネットコミュニティ) との連携

- ① 2014年度年次大会において、TOPIC「東北学術研究インターネットコミュニティ」と共催した。
- ② TOPIC は、東北地区における学術研究・教育活動を支援するコンピュータネットワーク環境の発展に貢献するために大学・高専・学術研究機関等のネットワークを相互接続したインターネットを運用している団体。

5 文部科学省の委託事業を受託

(1) 受託した委託事業

- ・先導的大学改革推進委託事業「MOOC等を活用した教育改善に関する調査研究」

(2) 事業参加者

調査分析等チーム：藤村直美(事業代表者)、山田恒夫、酒井博之、重田勝介、
福原美三、John Augeri

有識者の委員会：安浦会長、深澤理事、伊藤千秋(富士通)、宮川繁(MIT)など 計10人

(3) 事業報告書

平成27年3月31日に文部科学省に提出

6 本協議会所属研究者を委嘱

(1) 趣旨

政府機関等が補助金等により調査研究等を公募する場合、大学ICT推進協議会として応募することができるように、部会ごとに本協議会を兼務する研究者を委嘱した。

2014年度秋に最初の委嘱を行い、2015年4月以降も同様に委嘱する予定である。

(2) 2014年度の委嘱研究者数

CIO部会を除く各部会 8部会 8人

7 賛助会員を対象にアンケートを実施

- (1) 賛助会員を対象に、本協議会に対して期待する事項についてアンケート調査を行った。
- (2) その結果を基に、理事会で検討を行い、次のような方針を決定している。
 - ・賛助会員が企画・実施するイベントの告知を AXIES のホームページに掲載する。
 - ・年次大会への参加について、賛助会員に一人分の参加費無料枠を設けることについて、年次大会の実行委員会に検討を依頼する。
 - ・ホームページを視覚化するなどの改善を行う。

8 部会での特徴的な活動

- (1) ICT 利活用調査部会を設置
 - ・国内外における ICT 利活用の実態や課題を明らかにする調査を実施し、我が国の高等教育における ICT 利活用のあり方を提案するため、「ICT 利活用調査部会」を設置した。
- (2) 「情報倫理デジタルビデオ小品集第 5 版」を作成し、販売
 - ・2014 年 11 月に「情報倫理デジタルビデオ小品集第 5 版」を作成し、12 月 10 日の年次大会から販売を開始した。
- (3) 安否確認システムの共同開発 (CIO 部会、クラウド部会)
 - ・協議会会員での情報システムの共同開発の試みとして、安否確認システムの開発を開始した。
 - ・クラウド部会において会員大学の協力を得ながらシステム開発した安否確認システムについて、京都大学でテストを行い、本格導入に向けて新たなシステムを構築した。
- (4) CIO 向けセミナーや CIO 向け講演会の開催
 - ・年次大会での CIO 部会開催に合わせて、CIO 向け講演会を開催した。
- (5) AXIES 包括ライセンスプログラムの特典適用開始
 - ・AXIES 会員大学とマイクロソフトとの間でのソフトウェアの包括契約が、2014 年 6 月時点で 20 件に達した。
 - ・これを受け、2014 年 9 月以降に会員機関が契約するマイクロソフトとの包括契約では特典として 5% の割引が適用されている。
- (6) 年次大会での各種セッションの企画、実施 (各部会)
- (7) 外部機関イベントへの後援、協賛、参加